



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月5日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774)44-4923  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,177	17.4	437	47.3	449	57.3	313	51.6
2019年3月期第2四半期	2,706	4.4	297	4.5	285	△3.1	207	△3.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.53	—
2019年3月期第2四半期	11.37	—

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,976	7,025	78.3
2019年3月期	9,401	7,009	74.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,025百万円 2019年3月期 7,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	4.4	1,238	△11.4	1,260	△10.0	864	△10.5	48.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	20,449,836株	2019年3月期	20,449,836株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,542,771株	2019年3月期	2,538,769株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	17,908,030株	2019年3月期2Q	18,215,177株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が持続したものの、米中貿易摩擦の激化リスクや英国のEU離脱問題など、不安定な情勢で推移しました。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「美容室とともに女性を髪から美しくする」というコーポレート・スローガンのもと、「カウンセリング&ビューティー」という施策を展開し、美容室でのワンランク上のカウンセリングを通じて、来店客に対してヘアケアの重要性を提案することで、本当に美しくなるための意識改革を促しました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントについては、「女性は髪からもっと美しくなれる」という考えに基づき、主力ブランドである「コタ アイ ケア」の美容室での販売を推進し、多くの『女性のキレイ』を髪から応援してまいりました。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」及び2019年5月に発売した新製品「コタトリート プレミック」を中心としたトイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、増収により増加いたしました。引き続き原価管理の見直し等を行っていることに加え、粗利率の高いトイレタリー製品の販売が好調であったことから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,177百万円(前年同四半期比17.4%増)、営業利益は437百万円(前年同四半期比47.3%増)、経常利益は449百万円(前年同四半期比57.3%増)、四半期純利益は313百万円(前年同四半期比51.6%増)となりました。

なお、当社は美容室向け髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	1,883	69.6	2,351	74.0	467	24.8
整髪料	436	16.1	459	14.5	22	5.2
カラー剤	167	6.2	146	4.6	△20	△12.3
育毛剤	100	3.7	95	3.0	△4	△4.2
パーマ剤	59	2.2	61	1.9	1	2.7
その他	58	2.2	63	2.0	4	7.2
合計	2,706	100.0	3,177	100.0	471	17.4

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から425百万円減少し、8,976百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が154百万円増加し、現金及び預金が226百万円、受取手形及び売掛金が465百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から441百万円減少し、1,951百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が105百万円増加し、未払金が427百万円、未払法人税等が206百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から16百万円増加し、7,025百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が20百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、78.3%(前事業年度74.5%)となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より226百万円減少し、1,766百万円(前年同四半期比329百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、108百万円(前年同四半期は89百万円の増加)となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益449百万円及び売上債権の減少465百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加255百万円、法人税等の支払いによる支出381百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、37百万円(前年同四半期は480百万円の増加)となりました。

支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出31百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、297百万円(前年同四半期は1,099百万円の減少)となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出292百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きくなっております。当第2四半期累計期間におきましては、かねてより進めております人材の獲得及び早期育成による新規取引先の開拓に成果が見え始め、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」及び2019年5月に発売した新製品「コタトリート プレミーク」が好調に推移したことに加え、これらトイレットリー製品は粗利率も高いことから、各利益は前年同四半期と比べ大幅な増益率となりました。

第3四半期以降につきましては、美容業界の繁忙期と重なることに加え、11月から12月にかけて当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催しており、「コタ アイ ケア」や「コタトリート プレミーク」を中心としたトイレットリーの需要増加等、今後も順調に推移すると見込んでおります。その一方で、消費増税による駆け込み需要の反動など不透明な状況もあることから、下半期のウエイトを勘案した結果、現時点において2019年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、今後の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,992,698	3,766,202
受取手形及び売掛金	1,288,160	822,484
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	535,322	689,865
仕掛品	17,669	27,293
原材料及び貯蔵品	205,204	296,301
その他	26,109	54,777
貸倒引当金	△32	△27
流動資産合計	6,115,132	5,706,896
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,095,694	1,071,458
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	155,874	139,489
有形固定資産合計	2,410,474	2,369,854
無形固定資産	145,496	123,820
投資その他の資産	730,851	775,839
固定資産合計	3,286,823	3,269,514
資産合計	9,401,956	8,976,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,259	164,848
未払金	510,671	82,774
未払法人税等	409,000	202,324
賞与引当金	208,243	222,623
役員賞与引当金	—	13,646
販売奨励引当金	46,391	151,876
その他	237,719	210,080
流動負債合計	1,563,284	1,048,173
固定負債		
退職給付引当金	129,191	159,072
役員退職慰労引当金	523,742	554,260
資産除去債務	41,644	48,471
長期預り保証金	135,033	141,328
固定負債合計	829,610	903,132
負債合計	2,392,895	1,951,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,854	330,888
利益剰余金	8,557,129	8,577,993
自己株式	△2,267,619	△2,272,640
株主資本合計	7,008,163	7,024,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	896	1,063
評価・換算差額等合計	896	1,063
純資産合計	7,009,060	7,025,104
負債純資産合計	9,401,956	8,976,411

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,706,405	3,177,563
売上原価	701,178	789,041
売上総利益	2,005,226	2,388,522
販売費及び一般管理費	1,707,960	1,950,596
営業利益	297,266	437,925
営業外収益		
受取利息	1,372	1,567
受取配当金	992	819
受取賃貸料	3,296	3,075
業務受託料	4,800	4,800
その他	2,171	2,839
営業外収益合計	12,632	13,100
営業外費用		
賃貸費用	728	602
支払手数料	22,997	—
その他	204	732
営業外費用合計	23,930	1,334
経常利益	285,967	449,691
税引前四半期純利益	285,967	449,691
法人税、住民税及び事業税	65,974	181,025
法人税等調整額	12,949	△45,289
法人税等合計	78,924	135,736
四半期純利益	207,043	313,954

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	285,967	449,691
減価償却費	101,962	99,877
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,380	14,380
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	13,270	13,646
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,365	29,881
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△88,033	30,518
その他の引当金の増減額(△は減少)	83,411	105,484
受取利息及び受取配当金	△2,364	△2,386
売上債権の増減額(△は増加)	686,615	465,676
たな卸資産の増減額(△は増加)	△271,301	△255,264
仕入債務の増減額(△は減少)	12,952	13,589
その他	△443,300	△477,236
小計	383,134	487,852
利息及び配当金の受取額	1,512	1,332
法人税等の支払額	△295,108	△381,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,538	108,108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△17,239	△31,684
無形固定資産の取得による支出	△2,739	△4,500
投資有価証券の売却による収入	—	9,450
その他	668	△10,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	480,689	△37,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△824,519	△5,098
自己株式の売却による収入	1	111
配当金の支払額	△274,881	△292,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,099,400	△297,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△529,172	△226,495
現金及び現金同等物の期首残高	1,966,133	1,992,698
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,436,960	1,766,202

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。